

木造建築工事仕様書

I 工事概要

1 工事場所							
2 地域地区 ()							
3 敷地面積	m ²						
4 建物用途							
5 概略概要							
No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m ²)	延面積 (m ²)
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
合計							

II 工事仕様

- 1 共通事項
(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「木造標準仕様書」という)及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版」(以下「標準仕様書」という)による。
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- 2 特記事項
(1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は○印を適用する。
○印の無い場合は、*印のあるものを適用する。
○印と○印のある場合はともに適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、木構仕の当該項目・図または表を示す。
特記事項に記載の<>内表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	1 適用基準等	* 建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ・ 公共住宅標準詳細設計図集(第4版) 公共住宅事業者等連絡協議会監修 * 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 一般社団法人公共建築協会 編集
	2 材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1)~6)の事項を満たすものとする。 ただし、使用量の少ないもの、簡易な材料又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1)~6)を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 3) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 4) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 5) 安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。 6) 材料及び接着剤等のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 なお、商品名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 また、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。 ただし、社団法人公共建築協会編集・発行「建築材料・設備材料等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(最新版)」及び「同設備材料等評価名簿(最新版)」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
()		仕様書 1			

章	項目	特記事項																																																																														
3	環境への配慮	本工において、国等による環境物品等の調達に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和5年2月24日変更閣議決定)」に定める特定調達品目分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。																																																																														
4	特別な材料の工法及び製品	木構仕及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて、当該製品指定工法によることができる。 ・ しまね・ハツ・建設ブランドに登録された下記工法又は製品を使用する。 <table border="1"><thead><tr><th>登録技術</th><th>適用箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table>	登録技術	適用箇所																																																																												
登録技術	適用箇所																																																																															
5	電気保安技術者(1.3.3)	* 配置する資格等は監指表1.3.2及び監指表1.3.3による																																																																														
6	施工条件(1.3.5)	詳細は現場説明書による																																																																														
7	発生材の処理等(1.3.11)	・ 引き渡しを要するもの() ・ 現場において再利用を図るもの() 産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>品目</th><th>搬出場所</th><th>距離(Km)</th><th>区分(有・無)</th><th>発分費(有・無)</th><th>D/D</th><th>備考(再資源化の有無等)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">一般廃棄物</td><td>・ コンクリート塊</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>有</td></tr><tr><td>・ フスケット土塊</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>有</td></tr><tr><td rowspan="2">特定建築資材</td><td>・ コンクリート</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>有</td></tr><tr><td>・ 及びから</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>有</td></tr><tr><td></td><td>・ 木材</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>有</td></tr><tr><td>特別管</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>埋産物</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>廃棄物</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	項目	品目	搬出場所	距離(Km)	区分(有・無)	発分費(有・無)	D/D	備考(再資源化の有無等)	一般廃棄物	・ コンクリート塊						有	・ フスケット土塊						有	特定建築資材	・ コンクリート						有	・ 及びから						有		・ 木材						有	特別管								埋産物								廃棄物								その他							
項目	品目	搬出場所	距離(Km)	区分(有・無)	発分費(有・無)	D/D	備考(再資源化の有無等)																																																																									
一般廃棄物	・ コンクリート塊						有																																																																									
	・ フスケット土塊						有																																																																									
特定建築資材	・ コンクリート						有																																																																									
	・ 及びから						有																																																																									
	・ 木材						有																																																																									
特別管																																																																																
埋産物																																																																																
廃棄物																																																																																
その他																																																																																
8	交通安全管理(1.3.8)	以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。配置する位置は別に図示する。 <table border="1"><thead><tr><th>名称</th><th>人・日数</th><th>交通安全管理の必要な作業等</th></tr></thead><tbody><tr><td>交通誘導員A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>交通誘導員B</td><td></td><td></td></tr><tr><td>交通整理員</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> (注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。 取扱いは「建築工事における交通誘導員の取扱い基準」(営繕課HP掲載)による	名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等	交通誘導員A			交通誘導員B			交通整理員																																																																				
名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等																																																																														
交通誘導員A																																																																																
交通誘導員B																																																																																
交通整理員																																																																																
9	技能士の適用(1.5.2)	* 技能士制度の趣旨を十分理解の上、積極的に活用する。																																																																														
10	化学物質の濃度測定(1.5.9)	下記により測定し、その結果を監督職員に報告する。 測定化学物質名: ・ ホルムアルデヒド ・ トルエン ・ キシレン ・ エチルベンゼン ・ スチレン ・ パラジクロロベンゼン 測定方法: ・ 営繕工事におけるホルムアルデヒド等測定要領 ・ 学校施設の工事における環境衛生検査の濃度測定要領 ・ 住宅性能表示制度に基づく測定方法(ただし書きによる測定方法を含む) 測定箇所: 箇所 測定対象室:																																																																														

章	項目	特記事項														
11	工事写真	下記のものを出す。 仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類</th><th>サイズ(mm)</th><th>提出部数</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">工事中写真(着工前含)</td><td>* カラー</td><td>* 80×120程度</td><td>1部</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>* カラー</td><td>外部全景 * 120×170程度 その他 * 80×120程度</td><td>1部</td></tr></tbody></table> 電子データ デジタルカメラを使用する場合は、工事中写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。 (注) フィルムカメラを使用する場合は監督職員と協議する。	区分	分類	サイズ(mm)	提出部数	工事中写真(着工前含)	* カラー	* 80×120程度	1部	完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170程度 その他 * 80×120程度	1部		
区分	分類	サイズ(mm)	提出部数													
工事中写真(着工前含)	* カラー	* 80×120程度	1部													
	完成写真	* カラー	外部全景 * 120×170程度 その他 * 80×120程度	1部												
12	完成図	下記のものを出す。竣工後15日以内に提出する。 仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。 <table border="1"><thead><tr><th>品名・仕様</th><th>提出部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>図 * 竣工図</td><td>1部</td></tr><tr><td>写 製本サイズ(* A3縮小版)白紙</td><td>1部</td></tr><tr><td>図 表紙(* レザック表紙(ラミネート仕上げ))</td><td>1部</td></tr><tr><td>* 電子データ(PDFデータ、CADデータ、施工図)(CD-R等)</td><td>1部</td></tr></tbody></table> 製本の取りまとめについては監督職員の指示による。 設計に関するCADデータを貸与するが、著作権者は、島根県にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。	品名・仕様	提出部数	図 * 竣工図	1部	写 製本サイズ(* A3縮小版)白紙	1部	図 表紙(* レザック表紙(ラミネート仕上げ))	1部	* 電子データ(PDFデータ、CADデータ、施工図)(CD-R等)	1部				
品名・仕様	提出部数															
図 * 竣工図	1部															
写 製本サイズ(* A3縮小版)白紙	1部															
図 表紙(* レザック表紙(ラミネート仕上げ))	1部															
* 電子データ(PDFデータ、CADデータ、施工図)(CD-R等)	1部															
13	保安に関する資料(1.7.3)	<table border="1"><thead><tr><th>書類名</th><th>提出部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>建築物等の利用に関する説明書(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)</td><td>* 1部</td></tr><tr><td>機器取扱い説明書</td><td>1部</td></tr><tr><td>機器性能試験成績書</td><td>1部</td></tr><tr><td>官公署等届出書類</td><td>1部</td></tr><tr><td>その他監督職員が指示するもの</td><td>1部</td></tr><tr><td>建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)</td><td>* 1部</td></tr></tbody></table>	書類名	提出部数	建築物等の利用に関する説明書(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1部	機器取扱い説明書	1部	機器性能試験成績書	1部	官公署等届出書類	1部	その他監督職員が指示するもの	1部	建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)	* 1部
書類名	提出部数															
建築物等の利用に関する説明書(建築物等の利用に関する説明書作成要領による)	* 1部															
機器取扱い説明書	1部															
機器性能試験成績書	1部															
官公署等届出書類	1部															
その他監督職員が指示するもの	1部															
建築物等の利用に関する説明書の電子データ(CD-R等)	* 1部															
14	情報共有システム	「島根県営繕工事等情報共有システム実施要領」に基づき、情報共有システムを利用した場合は、情報共有システムで処理を行った書式一式を、工事完成時に電子媒体(CD-R等)で納品することを基本として受発注者間協議により決定する。														
15	関連他工事															
16	特定元方事業者の指名	下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。 ・ 本工事の受注者 ・ 関連他工事の受注者()														
17	施工図及び施工計画書(1.2.2、3)	提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における使用権は発注者に委譲するものとする。														
18	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 V0 (m/s) ・ 3.0 ・ 3.2 (旧益田市、旧見野町、旧日原町、隠岐郡) ・ 3.4 (旧津和野町、旧杵木村、旧六日町) 地表面粗土区分 I・II・III・IV 積荷重 告示第1455号、島根県建築基準法施行細則による														

章	項目	特記事項
2 仮設工事	1 手すり先行足場(2.2.4)	「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」による。
	2 監督員事務所(2.3.1)	設置する 面積: m ² 程度 仕上げ: 備品: 設備:
	3 現場事務所	設置できる(・敷地外・敷地外(設置可能場所:))
	4 工事用電力、水、その他	構内既存の施設 工事用水 ・ 利用できる(有償) ・ 利用できない 工事用電力 ・ 利用できる(有償) ・ 利用できない
	5 仮囲い及び出入口	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。
	6 養生シート	設置範囲 ・ 図示の位置 ・ 外部足場全面 養生シートの種類 ・ 養生シート ・ 防火I類 ・ 防火II類 ・ ネット状養生シート ・ 防火I類 ・ 防火II類
	7 洗車場	設置箇所、材質、構造及び設置期間は図示による。
3 土・地・業・基礎工事	1 埋戻し及び盛土の種別<3.2.3>	埋戻し・A種・B種・C種・D種 <表3.2.1> ・ (材料: 工法:) 盛土・A種・B種・C種・D種 <表3.2.1> (C種の場合の詳細は、現場説明書による。) ・ (材料: 工法:)
	2 建設発生土の処理<3.2.5>	* 現場説明書による
	3 山留め<3.3.2><3.3.3>	工法等() 存置 ・ する * しない 鋼矢板等の抜き跡の処理工法 * 砂を充填する
	4 支持地盤等<4.2.4>	・ 直接基礎 支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む) * 図示による ・ 試験掘り(根切り底の状態の確認等)位置は図示による ・ 地盤の平板載荷試験 載荷試験の方法 * 地盤工学会基準 JGS 1521による ・ 図示による 試験の位置、載荷荷重 * 図示による
	5 抗共通事項<4.2.2><4.3.4、5><4.4.4><4.5.5、6>	支持層の位置及び土質(基礎ぐい先端の位置含む) * 図示による 試験杭 試験杭の位置 * 図示による 杭の支持層への埋入れ長さ * 図示による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径0/4かつ100mm以下 ・ 図示による 杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 図示による

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
()		仕様書 1			

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
6	既製コンクリート杭地業	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭 (SCH杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ () <p>寸法、継手、性能等 (種類、種類、性能及び曲げ強度区分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭符号</th> <th>種類</th> <th>コウガット</th> <th>杭径</th> <th>厚さ</th> <th>杭長</th> <th>継手</th> <th>セッ</th> <th>長期設計支</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>強度(N/mm2)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>数</th> <th>数</th> <th>持力(kN/本)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・ 図示による <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セメントミルク工法 ・ 掘削深さ * 図示による ・ 根固め液及び杭周固定液の管理試験 * 標準仕様書4.3.4(6)(c)による ・ 図示による ・ 特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち α、β、γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha = ()$、$\beta = ()$、$\gamma = ()$ <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フレボリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ () ・ 杭周固定液を使用する <p>杭の継手の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アーク溶接継手 溶接材料 * 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・ 図示による ・ 機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 * 評定等を受けた工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 杭頭を処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) * 図示による <p>杭頭の中詰め材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・ 図示による 	杭符号	種類	コウガット	杭径	厚さ	杭長	継手	セッ	長期設計支	備考		種類	強度(N/mm2)	(mm)	(mm)	(mm)	数	数	持力(kN/本)		上杭										中杭										下杭										上杭										中杭										下杭										7	鋼杭地業	<p>鋼杭地業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SKK400 ・ SKK490 ・ () <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭符号</th> <th>種類</th> <th>コウガット</th> <th>強度</th> <th>杭径</th> <th>厚さ</th> <th>杭長</th> <th>継手</th> <th>セッ</th> <th>長期設計支</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>(N/mm2)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>数</th> <th>数</th> <th>持力(kN/本)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>特定埋込杭工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち α、β、γ が以下の値を採用できる工法 $\alpha = ()$、$\beta = ()$、$\gamma = ()$ <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中掘り拡大根固め工法 ・ () <p>杭の継手の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アーク溶接継手 形状 ・ JIS A 525 による ・ 図示による 溶接材料 * 標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・ 図示による 	杭符号	種類	コウガット	強度	杭径	厚さ	杭長	継手	セッ	長期設計支	備考			(N/mm2)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	数	数	持力(kN/本)		上杭											中杭											下杭											上杭											中杭											下杭											8	場所打ちコンクリート杭地業	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 * 評定等を受けた工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 杭頭を処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) * 図示による <p>杭頭の中詰め材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎のコンクリートと同調合のもの ・ 図示による <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・ 使用しない) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 (孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない) ・ 回転式 ・ 振動式 <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ () ・ 掘底杭工法 (安定液 ・ 使用する ・ 使用しない) ・ () <p>寸法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭符号</th> <th>軸径</th> <th>掘底径</th> <th>杭長</th> <th>セッ</th> <th>長期設計支</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th></th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>(mm)</th> <th>数</th> <th>持力(kN/本)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 孔壁の保持状況 (孔壁測定) 測定方法 * 超音波測定器 測定箇所 試験杭 () 箇所及び本杭 () 箇所 <p>鉄筋の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>帯筋</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>鉄筋の最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 100mm ・ () mm <p>鉄筋かごの補強</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による ・ 杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接する。 <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手</p> <ul style="list-style-type: none"> * 重ね継手 * 重ね継手の長さ * 図示による ・ () <p>主筋の基礎底盤への定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>セメントの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高炉セメントB種 ・ () <p>コンクリートの設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> () N/mm <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> * A種 ・ B種 ・ 評定等の内容による <p>スランブ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 18cm ・ 21cm <p>構造体強度補正値</p> <ul style="list-style-type: none"> * 3N/mm2 ・ 図示による ・ 評定等の内容による 	杭符号	軸径	掘底径	杭長	セッ	長期設計支	備考		(mm)	(mm)	(mm)	数	持力(kN/本)																							種類	記号	呼び名	備考	・	SD295			・	SD345			9	砂利地業	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利又は切込砕石 <p>砂利厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 60mm ・ () cm <p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下及び土に接するスラブ下 ・ 図示による 	10	捨コンクリート地業	<p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> * 基礎下、基礎梁下及び土に接するスラブ下 ・ 図示による <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 50mm ・ () mm 	11	床下防湿層	<p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> * 18N/mm2 ・ () N/mm2 <p>スランブ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 15cm又は18cm ・ () cm <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> * ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・ 図示による <p>範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ・ 図示による 	12	その他の地業	<p>地盤改良工法</p> <ul style="list-style-type: none"> * 工法 () 詳細は図示による <p>セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 六価クロム溶出試験 配合設計段階 検体 施工後段階 検体 ・ タンクリーチング試験 	13	鉄筋	<p>鉄筋の種類等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>*</td> <td>SD295</td> <td>* D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>SD345</td> <td>* D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄筋の形状等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄筋の継手の方法等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>* ガス圧接 ・ 機械式継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 溶接継手 ・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床、壁の鉄筋</td> <td>* 重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>・ 重ね継手</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による ・ 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ * 図示による <p>耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による 	種類	記号	呼び名	備考	*	SD295	* D16以下		*	SD345	* D19以上		・				・				種類	種類	記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	・	溶接金網				・	鉄筋格子				部位	継手の方法	呼び名	柱、梁の主筋	* ガス圧接 ・ 機械式継手			・ 溶接継手 ・ 重ね継手		床、壁の鉄筋	* 重ね継手		その他の鉄筋()	・ 重ね継手		14	溶接金網	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> * 溶接金網 ・ 鉄筋格子 	15	鉄筋の継手及び定着	<p>部位</p> <ul style="list-style-type: none"> * ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手 <p>床、壁の鉄筋</p> <ul style="list-style-type: none"> * 重ね継手 <p>その他の鉄筋()</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重ね継手 	16	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)	<p>最小かぶり厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 図示による <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽量コンクリートを適用する場合 適用箇所() ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・ 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害を受ける恐れのある部分等) 適用箇所() ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ () mm 	17	各部配筋	<p>* 図示による</p>	18	圧接完了後の圧接部の試験	<p>試験 * 超音波探傷試験 ・ 引張試験</p> <p>試験方法は標準仕様書 5.4.10(4)(b)①~⑥による</p>	19	機械式継手	<p>適用箇所 * 図示による</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 * A級 ・ ()</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ねじ鉄筋継手 充填方式 * 無機? あり方式 ・ 有機? あり方式 ・ 端部ねじ加工継手 ・ ねじ充填式継手 <p>工法 * 第三者機関の評定等を取得している工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄筋相互のあき * 評定等の評価内容による 品質の確認 * 評定等の評価内容による 検査 * 評定等の評価内容による <p>施工完了後の継手部の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観試験 試験対象 * 全数 試験項目 * 評定等の評価内容による 試験方法 * 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。 ・ 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 * 挿入長さ 試験方法 * JIS Z 3064(鉄筋コウガット用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不適合となった場合の措置 	20	溶接継手	<p>適用箇所 * 図示による</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 * A級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溶接継手の工法 ・ 図示による 鉄筋相互のあき ・ 標準仕様書5.3.5(4)による ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による <p>施工完了後の溶接部の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外観試験 試験対象 * 全数 試験項目 * 評定等の評価内容による 試験方法 * 評定等の評価内容による ・ 超音波探傷試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。 ・ 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・ 全数 試験項目 * 内部欠陥の検出 試験方法 * JIS Z 3063(鉄筋コウガット用異形鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による 不適合となった場合の措置 ・ 	21	コンクリートの種類	<p>コウガットの類別</p> <ul style="list-style-type: none"> * I 種 (JIS A 5308への適合を認証されたコウガット) ・ II 種 (JIS A 5308に適合したコウガット) 	22	コンクリートの	<p>* 普通コウガット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>スランブ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(L/m3)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 24</td> <td>・ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>2.3程度</td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体強度補正値 * 標準仕様書表6.3.2による ・ 図示による</p> <p>・ 軽量コンクリート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>スランブ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m3)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>* 21</td> <td></td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体強度補正値 * 標準仕様書表6.3.2による ・ 図示による</p>	設計基準強度(N/mm2)	スランブ(cm)	気乾単位容積質量(L/m3)	適用箇所	・ 24	・ 標準仕様書表6.2.2による	2.3程度	図示による	設計基準強度(N/mm2)	スランブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所	・	* 21		・ 1種 ・ 2種	図示による
			杭符号	種類	コウガット	杭径	厚さ	杭長	継手	セッ	長期設計支	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	種類	強度(N/mm2)	(mm)	(mm)	(mm)	数	数	持力(kN/本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
上杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
中杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
下杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
上杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
中杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
下杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
杭符号	種類	コウガット	強度	杭径	厚さ	杭長	継手	セッ	長期設計支	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		(N/mm2)	(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	数	数	持力(kN/本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
上杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
中杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
下杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
上杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
中杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
下杭																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
杭符号	軸径	掘底径	杭長	セッ	長期設計支	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	(mm)	(mm)	(mm)	数	持力(kN/本)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類	記号	呼び名	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・	SD295																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・	SD345																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	記号	呼び名	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
*	SD295	* D16以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
*	SD345	* D19以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	種類	記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・	溶接金網																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・	鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
部位	継手の方法	呼び名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
柱、梁の主筋	* ガス圧接 ・ 機械式継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・ 溶接継手 ・ 重ね継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
床、壁の鉄筋	* 重ね継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他の鉄筋()	・ 重ね継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
設計基準強度(N/mm2)	スランブ(cm)	気乾単位容積質量(L/m3)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 24	・ 標準仕様書表6.2.2による	2.3程度	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
設計基準強度(N/mm2)	スランブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・	* 21		・ 1種 ・ 2種	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
図面番号	工 事 名			図面種別	縮 尺	設計・年月	担当者	設計者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
()				仕様書 2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																				
23	セメント ≪6. 3. 1≫	種類 * 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シセメントA種又は77イオンセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 適用箇所() ・77イオンセメントB種 適用箇所()			・断熱材を兼用した型枠材 適用箇所 * 図示による ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 * 図示による 打増し厚さ * 20mm ()mm 打増し範囲 * 図示による ・スラブの材種・規格等 * 図示による																																										
24	骨材 ≪6. 3. 1≫	77イオン反応性による区分 * A・B																																													
25	混和材料 ≪6. 3. 1≫	・混和剤 混和剤の種類 * 標準仕様書 6.3.1(4)(a)による * 図示による ・混和材 混和材の種類 * 標準仕様書 6.3.1(4)(b)による * 図示による	4	1 防腐・防蟻処理 (4. 2. 1~3)	<table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th colspan="2">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <td>防腐・防蟻処理が不要な樹種</td> <td>薬剤の加圧注入</td> <td>薬剤の塗布等</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・K2・K3・K4</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・行う</td> </tr> </table> インサイジング ・適用する * 適用しない ・薬剤の塗布等による処理 薬剤の種類 * 図示による 適用部位 * 図示による 処理の方法 * 木造標準仕様書4.2.1(9)(b)による * 図示による ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理	適用部位	処理の種類及び処理の方法		防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	・	・	・K2・K3・K4	・	・	・行う																														
適用部位	処理の種類及び処理の方法																																														
防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等																																													
・	・	・K2・K3・K4																																													
・	・	・行う																																													
26	寒中コンクリート ≪6. 11. 1、2≫	適用期間 * 図示による 構造体強度補正值 * 積算温度を基に定める場合() * 標準仕様書6.11.2(3)(7)による * 図示による																																													
27	暑中コンクリート ≪6. 12. 2≫	構造体強度補正值 * 6N/mm ² * 図示による																																													
28	マスコンクリート ≪6. 13. 1、2≫	適用箇所 * 図示による セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント 中・高熱ポルトランドセメント 低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 77イオンセメントB種 シセメント 混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 * 標準仕様書 6.13.2(2)(7)による * 図示による ・混和材 混和材の種類 * 標準仕様書 6.13.2(2)(4)による * 図示による スランブ * 15cm ()cm 構造体強度補正值 * 標準仕様書表6.13.1による * 図示による			・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入 (K3) による 防腐・防蟻処理 適用部位 * 図示による ・地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用は木造標準仕様書4.2.2・(7)による・(4)による ・地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤 有効成分の系統() 剤の種類 * 液剤・粒剤 処理方法及び使用量 ・帯状散布 (帯状の幅: 約20cm) 液剤: 処理長さ1L/m 粒剤: () ・面状散布 液剤: 3L/m ² 粒剤: ()																																										
29	無筋コンクリート ≪6. 14. 1≫	コンクリートの種類 * 普通コンクリート () セメントの種類 * 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シセメントA種又は77イオンセメントA種 ・高炉セメントB種 ・77イオンセメントB種 設計基準強度 * 18N/mm ² ()N/mm ² スランブ * 15cm又は18cm ()cm 適用箇所 * 標準仕様書 6.14.1(4)(7)~(8)による * 図示による																																													
30	流動化コンクリート ≪6. 15. 1≫	適用箇所 * 図示による																																													
31	打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 ≪6. 6. 4≫ ≪6. 8. 1≫	打継ぎの位置 * 標準仕様書6.6.4(1)による * 図示による 目地寸法 * 標準仕様書 9.7.3(1)(7)による * 図示による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 * 図示による	2	2 防蟻措置 (4. 2. 4)	基礎外周部の換気孔 ・ねこ土台 材質等() * 防風スクリーン又は防虫網 ・換気孔 * 防風スクリーン又は防虫網 小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3) ・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e) 換気孔の大きさ * 図示による																																										
32	構造体コンクリートの仕上げ ≪6. 2. 5≫	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ * 図示による コンクリートの仕上げの平たんさ * 図示による	3	3 耐火処理等 (4. 3. 1~4)	・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法() 防火被覆の材料および工法 ・防火被覆の材料 * 図示による ・防火被覆の厚さ * 図示による ・防火被覆の留付け材の種類 * 図示による ・防火被覆の留付け間隔 * 図示による ・防火被覆の下地材への留付け長さ * 図示による ・防火被覆の下地材への端あき距離 * 図示による ・防火被覆の下地材への接着剤の使用 * 使用する * 使用しない ・防火被覆材の目地等の処理方法 * 図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理 * 図示による																																										
33	打増し厚さ (打放し仕上げ部) ≪6. 8. 1≫	・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) * 20mm ()mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) * 10mm・20mm ()mm ・外装タイル面の打増し処理 * 20mm ・床型枠用鋼製デッキプレートの側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う * 10mm・20mm ()mm																																													
34	型枠 ≪6. 8. 2≫	せき板の材料及び厚さ * 合板 厚さ * 12mm ()mm ・メッシュ型枠(使用部位 * 図示による) ・床型枠用鋼製デッキプレート(施工範囲 * 図示による)																																													
4	1 防腐・防蟻処理 (4. 2. 1~3)		5	1 木材 (5. 2. 2)	軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、使用材料表1による																																										
5	2 防蟻措置 (4. 2. 4)		2 構造用面材 (5. 2. 3)	軸組構法(壁構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による																																											
6	3 接合金物 (5. 2. 4)		3 接合金物 (5. 2. 4)	Z、C、X、D、Sマーク表示金物	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力(kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・筋かいプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 * 図示による	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	・火打金物				・筋かいプレート				・引き寄せ金物				・梁受け金物				・				・				・													
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他																																												
・火打金物																																															
・筋かいプレート																																															
・引き寄せ金物																																															
・梁受け金物																																															
・																																															
・																																															
・																																															
7	4 釘及び木ねじ (5. 2. 4) (5. 5. 7、9)		4 釘及び木ねじ (5. 2. 4) (5. 5. 7、9)	釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・木め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		・			・			・			種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	・			・								
種類	材質	その他																																													
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																														
・木め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																														
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																														
・																																															
・																																															
・																																															
種類	材質	その他																																													
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																													
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																													
・																																															
・																																															
8	5 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (5. 2. 4) (5. 5. 10)		5 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (5. 2. 4) (5. 5. 10)	Z、C、X、D、Sマーク表示金物	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・座金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 * 図示による	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト			・六角ボルト			・座金			・																													
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																													
・アンカーボルト																																															
・六角ボルト																																															
・座金																																															
・																																															
9	6 ラグスクリー (5. 2. 4) (5. 5. 11)		6 ラグスクリー (5. 2. 4) (5. 5. 11)	Z、C、X、D、Sマーク表示金物	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・ラグスクリー			・			・																																
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																													
・ラグスクリー																																															
・																																															
・																																															
10	7 ドリフトピン (5. 2. 4) (5. 5. 12)		7 ドリフトピン (5. 2. 4) (5. 5. 12)	ドリフトピン	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>* SS400</td> <td>* 丸鋼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	* SS400	* 丸鋼		・				・																													
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																																												
・ドリフトピン	* SS400	* 丸鋼																																													
・																																															
・																																															
11	8 木栓及び木だぼ (5. 2. 4) (5. 5. 13)		8 木栓及び木だぼ (5. 2. 4) (5. 5. 13)	木栓及び木だぼ	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>形状・長さ等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・木栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木だぼ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	樹種	形状・長さ等	その他	・木栓				・木だぼ				・				・																									
種類	樹種	形状・長さ等	その他																																												
・木栓																																															
・木だぼ																																															
・																																															
・																																															
12	9 接着剤 (5. 2. 4)		9 接着剤 (5. 2. 4)	・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 * 接着剤を併用した接合接着剤の種類 ()																																											
13	10 孔あけ加工 (5. 4. 3)		10 孔あけ加工 (5. 4. 3)	ボルト孔の径 * 木造標準仕様書5.4.2による * 図示による ドリフトピンの孔径 * ピン径と同径 * 図示による																																											
14	11 表面の仕上げ (5. 4. 4) (18. 13. 2)		11 表面の仕上げ (5. 4. 4) (18. 13. 2)	見え掛り面の表面の仕上げの程度 (5. 4. 4) ・製材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 (表5.4.3) 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (表5.4.5) ・構造用集成材 機械加工 ・A種 * B種 (表5.4.4) ・丸太材 機械加工 ・A種 ・B種 (表5.4.6) 手加工 ・H-A種 ・H-B種 (表5.4.7) ・木材保護塗料塗り 施工箇所 * 図示による 種別 ・A種 * B種																																											
15	12 アンカーボルトの設置等 (5. 5. 3)		12 アンカーボルトの設置等 (5. 5. 3)	埋込み深さ * 図示による 保持、及び埋込み工法 * A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 * ±5mm * 図示による																																											
16	13 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (5. 5. 4) (15. 3. 2)		13 基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (5. 5. 4) (15. 3. 2)	材料 * 木造標準仕様書5.5.4(4)による * 無収縮モルタル モルタルの厚さ * 図示による																																											
17	14 建方精度 (5. 5. 6)		14 建方精度 (5. 5. 6)	建入れ直し後の建方精度の許容値 * 垂直、水平の誤差の範囲/1000以下 * 図示による																																											
図面番号	工 事 名		図面種別	縮 尺	設計・年月	担当者	設計者																																								
()			仕様書3																																												

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																																																				
8	釘及び木ねじ (8.2.5)	釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘	種類	材質	その他	丸太組壁以外に設ける木材の表面仕上げ (8.4.6) (18.12.2) (18.13.2)	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表8.4.5) ・構造用集成材 機械加工 ・ A種 ・ B種 (表8.4.6) ・丸太材 機械加工 ・ A種 ・ B種 (表8.4.7) ・木材保護塗料塗り 施工箇所 * 図示 種別 ・ A種 ・ B種	16	丸太組壁以外に設ける継手の方法 (8.4.7)	丸太組壁用木材に設ける継手の方法 * 木造標準仕様書8.4.7(2) ・ 図示による	17	継手の方法 (8.4.7)	18	仮組立 (8.4.9)	* 適用する	19	アンカーボルトの設置 (8.5.3)	埋込み深さ ・ 図示による 保持及び埋込み方法 ・ A種 ・ B種 埋込み位置の許容誤差 * ±5mm以下 ・ ()	20	基礎天端及び柱底端しモルタルの仕上げ (8.5.4)	材料 ・ 木造標準仕様書8.5.4(7)による ・ 無収縮モルタル	21	通しボルトの増締め (8.5.7)	* 木造標準仕様書8.5.7(9)(f)の工法 ・ 図示による * 木造標準仕様書8.5.7(9)(g)の(a)~(c)以外の時期に増締めを行う場合の時期 ()	22	ジャッキボルトの増締め (8.5.8)	* 木造標準仕様書8.5.8(2)(7)~(9)以外の時期に増締めを行う場合の時期 ()	23	釘及び木ねじの工法 (8.5.11)	構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木	24	火打土台 (8.6.2)	・ 木材の火打土台 ・ 鋼製の火打土台	25	火打梁 (8.7.9) (8.8.6)	小屋組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁 床組 ・ 木製の火打梁 ・ 鋼製の火打梁	26	床束 (8.8.2)	・ 木製床束 ・ 鋼製床束 ・ 樹脂製床束	27	階段 (8.9.7)	階段の取付け * 木造標準仕様書8.9.7(1)による ・ (7) ・ (f) ・ (g) ・ 図示による	9	1	木材 (9.2.2)	CLT/パネル工法工事に使用する木材は、使用材料表8による	C	2	接合金物 (9.2.3)	X、Z、C、D、Sマーク表示金物	種類	X、Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力(kN)	その他	10	アンカーボルトの設置 (9.5.3)	埋込み深さ ・ 図示による 保持及び埋込み方法 ・ A種 ・ B種 (土台を設ける場合) 埋込み位置の許容誤差 ・ ±2mm ・ ±5mm (土台を設ける場合)	11	基礎天端均しモルタルの仕上げ (9.5.4) (15.3.2)	材料 ・ 木造標準仕様書9.5.4(7)による ・ 無収縮モルタル モルタルの厚さ * 図示による	12	建方精度 (9.5.7)	建入れ直し後の建方精度の許容値 * 垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ床及び壁の天端の平坦さ±3mm以下 ・ 図示による	13	接合金物の工法 (9.5.9)	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・ 埋め木 ・ 簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ ()	14	釘及び木ねじの工法 (9.5.10)	構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木	10	1	材料 (10.2.2) (10.2.3) (10.2.4)	木工事に使用する木材は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ・ 釘 ・ JIS A 5508 材質 () ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質 () ・ 造作材化板面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ・ 木ねじ ・ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 * ステンレス ・ JIS B 1112又は JIS B 1135に規定されているもの以外の木ねじ 材質 ()	2	表面の仕上げ (10.1.3)	・ 見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種) (表10.1.1) ・ 手加工 (表10.1.2) * 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 造作用集成材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種)	3	木材の耐水性処理 (10.3.1) (18.12.2)	屋外に使用する仕上げ木材 ・ 木材保護塗料塗り 施工箇所 ・ 図示による 種別 ・ A種 ・ B種	4	木材の防虫処理 (10.3.2)	施工箇所 ・ 図示による 処理方法 ・ 図示による	5	外壁通気構法下地 (10.8.2)	積雪地域の場合の下地補強	工法種別	補強方法	補強高さ(mm)	6	和室の造作 (10.10.1)	柱 ・ 背割不要の処理を行った製材	11	1	FRP系塗膜防水 (11.2.2) (11.2.4)	・ ルーフドレン ・ FRP系塗膜防水用ルーフドレン ・ 鉄鉄製 ・ オーバーフロー管 * つば付き 製造所の指定する製品 ・ 下地合板の上の防火板 種類 (* ケイ酸カルシウム板) 厚さ (* 10mm) 防水層平準の勾配 * 1/100以上 水張り試験 ・ 行う	2	シーリング (11.3.2) (11.3.3)	下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。(表11.3.1)ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	2	釘及び木ねじの工法 (9.5.10)	構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木	10	1	材料 (10.2.2) (10.2.3) (10.2.4)	木工事に使用する木材は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ・ 釘 ・ JIS A 5508 材質 () ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質 () ・ 造作材化板面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ・ 木ねじ ・ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 * ステンレス ・ JIS B 1112又は JIS B 1135に規定されているもの以外の木ねじ 材質 ()	2	表面の仕上げ (10.1.3)	・ 見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種) (表10.1.1) ・ 手加工 (表10.1.2) * 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 造作用集成材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種)	3	木材の耐水性処理 (10.3.1) (18.12.2)	屋外に使用する仕上げ木材 ・ 木材保護塗料塗り 施工箇所 ・ 図示による 種別 ・ A種 ・ B種	4	木材の防虫処理 (10.3.2)	施工箇所 ・ 図示による 処理方法 ・ 図示による	5	外壁通気構法下地 (10.8.2)	積雪地域の場合の下地補強	工法種別	補強方法	補強高さ(mm)	6	和室の造作 (10.10.1)	柱 ・ 背割不要の処理を行った製材	11	1	FRP系塗膜防水 (11.2.2) (11.2.4)	・ ルーフドレン ・ FRP系塗膜防水用ルーフドレン ・ 鉄鉄製 ・ オーバーフロー管 * つば付き 製造所の指定する製品 ・ 下地合板の上の防火板 種類 (* ケイ酸カルシウム板) 厚さ (* 10mm) 防水層平準の勾配 * 1/100以上 水張り試験 ・ 行う	2	シーリング (11.3.2) (11.3.3)	下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。(表11.3.1)ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	2	釘及び木ねじの工法 (9.5.10)	構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 木ねじの留付け * 木ねじ頭埋め木	10	1	材料 (10.2.2) (10.2.3) (10.2.4)	木工事に使用する木材は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ・ 釘 ・ JIS A 5508 材質 () ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質 () ・ 造作材化板面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ・ 木ねじ ・ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 * ステンレス ・ JIS B 1112又は JIS B 1135に規定されているもの以外の木ねじ 材質 ()	2	表面の仕上げ (10.1.3)	・ 見え掛り面の表面の仕上げの程度 製材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種) (表10.1.1) ・ 手加工 (表10.1.2) * 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 造作用集成材 ・ 機械加工 (・ A種 ・ B種 ・ C種)	3	木材の耐水性処理 (10.3.1) (18.12.2)	屋外に使用する仕上げ木材 ・ 木材保護塗料塗り 施工箇所 ・ 図示による 種別 ・ A種 ・ B種	4	木材の防虫処理 (10.3.2)	施工箇所 ・ 図示による 処理方法 ・ 図示による	5	外壁通気構法下地 (10.8.2)	積雪地域の場合の下地補強	工法種別	補強方法	補強高さ(mm)	6	和室の造作 (10.10.1)	柱 ・ 背割不要の処理を行った製材	11	1	FRP系塗膜防水 (11.2.2) (11.2.4)	・ ルーフドレン ・ FRP系塗膜防水用ルーフドレン ・ 鉄鉄製 ・ オーバーフロー管 * つば付き 製造所の指定する製品 ・ 下地合板の上の防火板 種類 (* ケイ酸カルシウム板) 厚さ (* 10mm) 防水層平準の勾配 * 1/100以上 水張り試験 ・ 行う	2	シーリング (11.3.2) (11.3.3)	下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。(表11.3.1)ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
			図面番号	工 事 名																																																																																		図面種別	縮 尺	設計・年月											担当者	設計者																																																																				
			()																																																																																			仕様書5																																																																																		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																
3	防水テープ (11. 4. 2)	両面粘着防水テープの幅 * 50mm以上	5	外壁乾式工法 <10. 2. 2> <10. 5. 2. 3>	伸縮調整目地 位置 * 6mm程度と * 図示による シーリング材の目寸法 * 標準仕様書9. 7. 3(1)(ウ)による * 図示による	4	有機系接着剤による タイル張り <11. 3. 2~5>	タイルの形状、寸法等 <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th rowspan="2">再生材料の適用</th> <th colspan="4">吸水率</th> <th rowspan="2">色調</th> <th rowspan="2">耐凍融性</th> <th rowspan="2">耐汚染性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> <th>無ゆわ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率				色調	耐凍融性	耐汚染性	備考	I	II	III	無ゆわ												4	粘土瓦葺 (14. 5. 2~3)	<table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th rowspan="2">形状による区分</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">製法による区分</th> <th rowspan="2">寸法による区分</th> <th colspan="6">役物</th> <th rowspan="2">大きさ</th> <th rowspan="2">産地等</th> </tr> <tr> <th>軒瓦</th> <th>それ瓦</th> <th>冠瓦</th> <th>半瓦</th> <th>雪止め瓦</th> <th>鬼瓦</th> <th>巴瓦</th> </tr> <tr> <td>J形瓦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>* 図示</td> </tr> <tr> <td>S形瓦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F形瓦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 補強用心木の防蟻・防蟻処理方法() 瓦葺結用釘又はねじ <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径及び長さ</th> </tr> <tr> <td>瓦葺結用釘</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瓦葺結用ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>	形状による区分	種類	製法による区分	寸法による区分	役物						大きさ	産地等	軒瓦	それ瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	鬼瓦	巴瓦	J形瓦													* 図示	S形瓦														F形瓦														種類	材質等	径及び長さ	瓦葺結用釘	ステンレス製		瓦葺結用ねじ	ステンレス製	
	施工箇所	形状寸法(mm)		再生材料の適用	吸水率							色調	耐凍融性	耐汚染性	備考																																																																																												
					I		II	III	無ゆわ																																																																																																		
	形状による区分	種類		製法による区分	寸法による区分		役物						大きさ	産地等																																																																																													
							軒瓦	それ瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	鬼瓦			巴瓦																																																																																												
J形瓦													* 図示																																																																																														
S形瓦																																																																																																											
F形瓦																																																																																																											
種類	材質等	径及び長さ																																																																																																									
瓦葺結用釘	ステンレス製																																																																																																										
瓦葺結用ねじ	ステンレス製																																																																																																										
バルコニー手すり (11. 4. 3)	バルコニー手すりの工法 * 木造標準仕様書11. 4. 3(ウ)⑤までによる固定方法 * 図示による																																																																																																										
ケイ酸系塗布防水 (11. 5. 1) <9. 6. 1, 3, 4>	防水層の種類 <表9. 1. 1> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>①-SUI</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②-SII</td> <td></td> </tr> </table> 壁及び天井部の防水層の下地 * コーキング打ち仕上げ(標準仕様書表6. 2. 4の種別B種) コーキングの打ち継ぎ技か所の下地処理 * 打継ぎ部分には、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリアリレート樹脂を充填する。 標準仕様書 9. 7. 3(2)の(イ)、(ウ)以外の下地処理 * 図示	種別	施工箇所	①-SUI		②-SII																																																																																																					
種別	施工箇所																																																																																																										
①-SUI																																																																																																											
②-SII																																																																																																											
施工保証書	下記防水工事施工部分について、10年間の施工保証書を提出し、期間内に受注者の責任により漏水したときは、受注者の負担により直ちに補修することを確約する。 * FRP系塗膜防水 * ケイ酸系塗布防水																																																																																																										
12	施工 <10. 1. 3> <10. 2. 1. 3>	石材の割付け * 図示による <表10. 2. 1. 2>	7	笠木、甲板等の石張り <10. 2. 2> <10. 7. 1. 3>	伸縮調整目地位置 * 図示による シーリング材の目寸法 * 標準仕様書9. 7. 3(1)(ウ)による * 図示による	14	屋根及びびとい工事	1 材料 (14. 2. 2) 2 金属板葺 (14. 3. 2~8) 3 折板葺 (14. 4. 2~3)	5	スレート葺 (14. 6. 2)	下葺材料 * 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ) * アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 * 行う <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>固定釘等の材質</th> </tr> <tr> <td>* JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td></td> <td>* 平葺(一文字葺) * 心木あり瓦葺 * 心木なし瓦葺 * 横葺 * 立平葺</td> <td></td> </tr> </table> 心木の防蟻・防蟻処理方法() * 平葺(一文字葺)の工法 はぜの作り方 * 図示による * 心木あり瓦葺の工法 銅板以外の板による屋根一般部分の工法 溝板及びキャップの留付け方法 溝板による屋根14. 3. 3(7)(c)による 瓦棒の間隔 * 図示による 銅板による屋根一般部分の工法 瓦棒の間隔 * 図示による * 心木なし瓦葺の工法 屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部 * 両押入を付ける場合 * 木造標準仕様書14. 3. 6(a)による * 両押入を用いない場合 * 木造標準仕様書14. 3. 6(b)による 工法 吊子、各部の釘の留付け間隔 * 図示による 雪止め * 設置する(施工箇所 * 図示による)	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質	* JIS G 3322の屋根用コイル			* 平葺(一文字葺) * 心木あり瓦葺 * 心木なし瓦葺 * 横葺 * 立平葺		6	アスファルトシングル葺 (14. 7. 2)	<table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>役物</th> <th>着色(色調)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>平形</td> <td>(全長×全幅)</td> <td>棟 けらば</td> <td>無 有()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>波形</td> <td></td> <td></td> <td>無 有()</td> <td></td> </tr> </table> 雪止め * 設置する(図示)	種類	寸法(mm)	役物	着色(色調)	備考	平形	(全長×全幅)	棟 けらば	無 有()		波形			無 有()																																																																					
	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号		厚さ(mm)	屋根葺形式		固定釘等の材質																																																																																																				
	* JIS G 3322の屋根用コイル				* 平葺(一文字葺) * 心木あり瓦葺 * 心木なし瓦葺 * 横葺 * 立平葺																																																																																																						
	種類	寸法(mm)		役物	着色(色調)		備考																																																																																																				
	平形	(全長×全幅)		棟 けらば	無 有()																																																																																																						
	波形				無 有()																																																																																																						
石材等 <10. 2. 1. 3>	天然石 <表10. 2. 1. 2> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>等級</th> <th>形状および寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>* 床</td> <td>* 2等品</td> <td>* 2等品</td> <td>* 正方形に近い矩形(1枚の面積0. 3m²以下)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ゾット「ナ」仕上げの「ナ」仕上げの有無 * あり * なし <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th colspan="7">ゾット「ナ」</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状</th> <th>仕上げ面</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>* 大理石</td> <td>* 花こう岩</td> <td>* 1. 5~12</td> <td>* 平もの</td> <td>* 片面</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>* 段もの</td> <td>* 両面</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="font-size: 8px;"> <tr> <th colspan="7">ゾット「ナ」</th> </tr> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>* 床</td> <td>* 大理石</td> <td>* 花こう岩</td> <td>* 1. 5~12</td> <td>* 300型</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>* 400型</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	岩石の種類	等級	形状および寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考	* 床	* 2等品	* 2等品	* 正方形に近い矩形(1枚の面積0. 3m ² 以下)				ゾット「ナ」							施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げの種類	* 大理石	* 花こう岩	* 1. 5~12	* 平もの	* 片面						* 段もの	* 両面			ゾット「ナ」							施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考	* 床	* 大理石	* 花こう岩	* 1. 5~12	* 300型						* 400型																																								
施工箇所	岩石の種類	等級	形状および寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																					
* 床	* 2等品	* 2等品	* 正方形に近い矩形(1枚の面積0. 3m ² 以下)																																																																																																								
ゾット「ナ」																																																																																																											
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げの種類																																																																																																					
* 大理石	* 花こう岩	* 1. 5~12	* 平もの	* 片面																																																																																																							
			* 段もの	* 両面																																																																																																							
ゾット「ナ」																																																																																																											
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考																																																																																																						
* 床	* 大理石	* 花こう岩	* 1. 5~12	* 300型																																																																																																							
				* 400型																																																																																																							
外壁湿式工法 <10. 2. 2. 3> <10. 3. 2. 3>	受金物 材質 * SUS304 形状及び寸法 * L-75×75×6(mm)の加工長さ100mm * L-75×75×6(mm)の加工長さ150mm アコ材の材質および寸法 * SS400 M12 あと施工アコ材の材質および寸法など() ドレンパイプの材質 * 樹脂製パイプ(加温用)巻き 25~35φ 石裏面処理 * 適用する * 適用しない 裏打ち処理 * 適用する * 適用しない 下地ごしらえ * 流し筋工法 * あと施工アコ工法 * あと施工アコ横筋流し工法 目地 一般目地 目地幅 * 6mm以上 シーリング材 * 適用する * 適用しない 伸縮調整目地 位置 * 標準仕様書表11. 1. 1による * 図示による シーリング材の目寸法 * 標準仕様書9. 7. 3(1)(ウ)による * 図示による																																																																																																										
内装空積工法 <10. 2. 2> <10. 4. 2. 3>	受金物 材質 * SUS304 形状及び寸法 * L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm * L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm アコ材の材質及び寸法 * SS400 M12 あと施工アコ材の材質、寸法等() 石裏面処理 * 適用する * 適用しない 裏打ち処理 * 適用する * 適用しない 下地ごしらえ * あと施工アコ横筋流し工法 目地 一般目地 目地幅 * 6mm以上 シーリング材 * 適用する * 適用しない																																																																																																										
図面番号	工事名		図面種別	縮尺	設計・年月	担当者																																																																																																					
()			仕様書6				設計者																																																																																																				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
19 内装工事	1 接着剤 ≪19. 2. 2≫	施工箇所の下地がコンクリート系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤種別 ・ 図示による	10 フローリング張り ≪19. 5. 2～5≫	単層フローリング ≪表19. 5. 1～6≫	天井のボード類(ウレタン吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ・ 図示による 合板の張付け ・ A種 ・ B種 せつこうボードの目地工法 ・ 図示による	13 壁紙張り ≪19. 8. 2. 3≫	施工箇所	壁紙の種類	2 窯業系 サイディング工事 (20. 3. 2)	・ 防風材 種類 ・ JIS A 6111に基づく透湿防水シートB ・ 厚さ ・ 図示による ・ 施工箇所 ・ 図示による 断熱材の施工 ・ 充填断熱工法 ・ 外張断熱工法 ・ 防湿処理 ・ 行う ・ 図示による 防湿層の施工 ・ 省略する 各部位の工法 ・ 木造標準仕様書20. 2. 5(7)から(c)までによる	
	2 下地の工法 ≪19. 2. 3≫	標準仕様書19. 2. 3(1)(7)～(9)以外の下地の工法 ・ 図示による		種類 工法 樹種 厚さ(mm) 備考				種類 厚さ(mm) 施工箇所			
	3 ビニル床シート ≪19. 2. 2. 3≫	種類の色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考		種類 厚さ(mm) 備考				種類 厚さ(mm) 施工箇所			
	4 ビニル床タイル ≪19. 2. 2≫	種類の色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考		種類 厚さ(mm) 規格等				種類 厚さ(mm) 施工箇所			
	5 特殊機能床材 ≪19. 2. 2≫	シート種別 厚さ・形状・寸法 種類		種類 厚さ(mm) 規格等				種類 厚さ(mm) 施工箇所			
	6 ビニル幅木 ≪19. 2. 2≫	材質の種類 ＊軟質 ・硬質 高さ(mm) ＊60 ・75 ・100 厚さ(mm) ＊1.5以上		種類 厚さ(mm) 規格等				種類 厚さ(mm) 施工箇所			
	7 ゴム床タイル ≪19. 2. 2≫	種類(単層品 ・ 複層品) 色柄 厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm)		種類 厚さ(mm) 規格等				種類 厚さ(mm) 施工箇所			
	8 カーベツト敷き ≪19. 3. 2. 3≫	・ 織じゅうたん 織り方 h(巾)の形状 帯電性 備考		種類 厚さ(mm) 規格等				種類 厚さ(mm) 施工箇所			
9 合成樹脂床材 ≪19. 4. 2. 3≫	・ 織じゅうたん 織り方 h(巾)の形状 帯電性 備考	種類 厚さ(mm) 規格等	20 ユニツト及びその他の工事	1 断熱材等材料 (20. 2. 2～5)	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ＊規制対象外 ・ 断熱材 施工箇所 ＊図示	4 ALCパネル (清形パネル)工事 (20. 4. 2. 3)	清形パネル パネルの区分 形状 厚さ(mm) 幅(mm) 長さ(mm)	5 フリーアクセス フロア ≪20. 2. 2≫	・ 防湿材 種類 木造標準仕様書20. 2. 2(2) (a) ・ (b) ・ (c) 厚さ 施工箇所 ・ 図示による ・ 気密材 種類 木造標準仕様書20. 2. 2(3) (a) ・ (b) ・ (c) ・ (d) ・ (e) ・ (f) 厚さ 施工箇所 ・ 図示による		
	・ 合成樹脂床材 弾性ウレタン樹脂系床材	種類 厚さ(mm) 規格等								種類 厚さ(mm) 規格等	種類 厚さ(mm) 規格等
	・ 厚膜型塗床材	種類 厚さ(mm) 規格等								種類 厚さ(mm) 規格等	種類 厚さ(mm) 規格等
	・ 厚膜型塗床材	種類 厚さ(mm) 規格等								種類 厚さ(mm) 規格等	種類 厚さ(mm) 規格等
	・ 厚膜型塗床材	種類 厚さ(mm) 規格等								種類 厚さ(mm) 規格等	種類 厚さ(mm) 規格等
	・ 厚膜型塗床材	種類 厚さ(mm) 規格等								種類 厚さ(mm) 規格等	種類 厚さ(mm) 規格等
	・ 厚膜型塗床材	種類 厚さ(mm) 規格等								種類 厚さ(mm) 規格等	種類 厚さ(mm) 規格等
	・ 厚膜型塗床材	種類 厚さ(mm) 規格等								種類 厚さ(mm) 規格等	種類 厚さ(mm) 規格等
図面番号	工事名		図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者				
()			仕様書9								

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項						
6	可動間仕切 ≪20. 2. 3≫	構造形式による	13 表示 ≪20. 2. 13≫	衝突防止表示 ・ 設置する 形状・寸法(・ 30φ) 材質 (・ ステンレス製) ・ 設置しない	22 床点検口	材質	23 耐震スリット	耐火性能	33 洗面カウンター	材質	* フリシ樹脂化粧張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600						
		防火性能				備考		* 固定式									
7	移動間仕切 ≪20. 2. 4≫	構成基材の種類	14 タラップ ≪20. 2. 12≫	材質	24 止水板	形式	25 旗竿	防火性能	34 防煙垂れ壁	耐火性能	* フリシ樹脂化粧張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600						
		総厚さ (mm)				表面仕上げ材		備考		* 可動式							
8	トイレブース ≪20. 2. 5≫	表面仕上げ材	15 煙突ライニング ≪20. 2. 13≫	樹脂標準、非常用出入口等の表示 * 消防法に適合する市販品 窓名札、バルコニー、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 * 図示による	26 旗竿受金物	耐火性能	27 車止めさく	防火性能	35 収納家具	耐火性能	* フリシ樹脂化粧張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600						
		動作方法				表面仕上げ材		備考		* 可動式							
9	手すり ≪20. 2. 6≫	表面仕上げ材	16 ブラインド ≪20. 2. 14≫	衝突防止表示 ・ 設置する 形状・寸法(・ 30φ) 材質 (・ ステンレス製) ・ 設置しない	28 フェンス	耐火性能	29 プレキャストコンクリート ≪20. 3. 3、4≫	防火性能	36 屋外掲示板	耐火性能	* フリシ樹脂化粧張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600						
		総厚さ (mm)				表面仕上げ材		備考		* 可動式							
10	階段滑り止め ≪20. 2. 7≫	表面仕上げ材	17 ロールスクリーン ≪20. 2. 15≫	衝突防止表示 ・ 設置する 形状・寸法(・ 30φ) 材質 (・ ステンレス製) ・ 設置しない	29 プレキャストコンクリート ≪20. 3. 3、4≫	耐火性能	30 間知石及びコンクリート間知ブロック ≪20. 4. 2、3≫	防火性能	37 くつふきマット	耐火性能	* フリシ樹脂化粧張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600						
		動作方法				表面仕上げ材		備考		* 可動式							
11	黒板及びホワイトボード ≪20. 2. 9≫	表面仕上げ材	18 カーテン ≪20. 2. 16≫	衝突防止表示 ・ 設置する 形状・寸法(・ 30φ) 材質 (・ ステンレス製) ・ 設置しない	31 鋼製書架、物品棚及び移動式書架	耐火性能	32 屋内掲示板	防火性能	38 階段手すり (金属工事以外)	耐火性能	* フリシ樹脂化粧張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600						
		総厚さ (mm)				表面仕上げ材		備考		* 可動式							
12	鏡 ≪20. 2. 10≫	表面仕上げ材	19 カーテンレール ≪20. 2. 16≫	衝突防止表示 ・ 設置する 形状・寸法(・ 30φ) 材質 (・ ステンレス製) ・ 設置しない	32 屋内掲示板	耐火性能	33 洗面カウンター	防火性能	39 天井見切り縁等	耐火性能	* フリシ樹脂化粧張り (心材：集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600						
		動作方法				表面仕上げ材		備考		* 可動式							
図面番号			工 事 名			図 面 種 別			縮 尺			設 計 ・ 年 月			担 当 者		
()			仕 様 書 10												設 計 者		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																													
21 排水工事	1 屋外雨水排水 《21. 2. 1》	<p>材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">《表21. 2. 1. 2》</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・連心力鉄筋コンクリート管</td> <td>・外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・</td> <td colspan="2">* 図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質PVC塩化ビニル管</td> <td>・RS-WP</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">* 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RS-WU</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">* 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・VP</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">* 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・WU</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">* 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 * 図示による 側溝の形状及び寸法 * 図示による 排水溝の種類 * 図示による 砂地業に用いる材料 * ｼｯﾄ、有機物等の混入しない 締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂利地業に用いる材料 * 再生ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ 切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ材料 設計基準強度 * 18N/mm2 ｽﾗﾌﾞ * 15cm又は18cm 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 * SD295 排水溝が現場打ちの場合の足掛け金物 材料 * スﾌﾟﾘﾝｸﾞ製 * 鋼製 合成樹脂被覆加工を行った足掛け金物 凍上抑制層に用いる材料 砂を用いる場合の粒度試験 * 行う * 行わない 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 * 接着剤</p>	《表21. 2. 1. 2》						材種	種類・記号	形状	呼び径	備考		・連心力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (1種)	・B形管	・	* 図示		・硬質PVC塩化ビニル管	・RS-WP			* 図示			・RS-WU			* 図示			・VP			* 図示			・WU			* 図示		22 舗装工事	1 路床	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th colspan="4">材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> <td>・C種</td> <td>・D種</td> <td>* 図示</td> </tr> <tr> <td>・凍土</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土</td> <td colspan="3"></td> <td>* 図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上</td> <td>・再生ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ</td> <td>・ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ</td> <td colspan="2"></td> <td>* 図示</td> </tr> <tr> <td>・抑制層</td> <td>・切込み砂利</td> <td>・砂 (標準仕様書表21.2.2による)</td> <td colspan="2"></td> <td>* 図示</td> </tr> <tr> <td>・ﾌｲﾙﾄ層</td> <td>・標準仕様書表2.2.3(3)による</td> <td colspan="3"></td> <td>* 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 * 行う * 行わない 路床安定処理の方法 * 図示による 追加材料による安定処理 種類 * 普通ｺﾞﾙｸﾞﾗﾝﾄﾞセメント * 高炉セメントB種 * ｱｸﾘﾙﾌﾟﾗｽﾄﾘｯｸ * 生石灰 (・特号・1号) * 消石灰 (・特号・1号) 添加量 * kg/m3 (目標OBR * 3以上) 目標OBRを満足する添加量の確認方法 * 安定処理土のOBR試験 ・ｼﾞｵﾌﾟﾗｽﾄﾘｯｸ 単位面積質量 * 60g/m2以上 厚さ (mm) * 0.5~1.0 引張強さ * 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 * 1.5×10^{-1} cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (OBR) 試験 * 行う * 行わない 路床締固め度の試験 * 行う * 行わない 現場OBR試験 * 行う * 行わない</p>	種類	材料				厚さ (mm)	・盛土	・A種	・B種	・C種	・D種	* 図示	・凍土	・建設汚泥から再生した処理土				* 図示	・凍上	・再生ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ	・ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ			* 図示	・抑制層	・切込み砂利	・砂 (標準仕様書表21.2.2による)			* 図示	・ﾌｲﾙﾄ層	・標準仕様書表2.2.3(3)による				* 図示	5 カラー舗装 《22. 6. 2~4》	・加熱系ﾌﾞﾚｯﾄﾞ舗装 構成・厚さ * 図示 加熱系混合物の結合材 ・ﾌﾞﾚｯﾄﾞ混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%) 着色骨材 () 自然石 () ・常温系カラー舗装 工法 * 乾式工法 * 塗布工法 着色部の下部 * ﾌﾞﾚｯﾄﾞ舗装 * ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 舗装の平坦性 * 通行の支障となる水溜を生じない程度	23 植栽工事	1 植栽地の確認等 《23. 1. 3》	<p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 * 行う * 行わない 電気伝導度 (EC) の試験 * 行う * 行わない</p>
	《表21. 2. 1. 2》																																																																																							
	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																			
	・連心力鉄筋コンクリート管	・外圧管 (1種)	・B形管	・	* 図示																																																																																			
	・硬質PVC塩化ビニル管	・RS-WP			* 図示																																																																																			
	・RS-WU			* 図示																																																																																				
	・VP			* 図示																																																																																				
	・WU			* 図示																																																																																				
種類	材料				厚さ (mm)																																																																																			
・盛土	・A種	・B種	・C種	・D種	* 図示																																																																																			
・凍土	・建設汚泥から再生した処理土				* 図示																																																																																			
・凍上	・再生ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ	・ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ			* 図示																																																																																			
・抑制層	・切込み砂利	・砂 (標準仕様書表21.2.2による)			* 図示																																																																																			
・ﾌｲﾙﾄ層	・標準仕様書表2.2.3(3)による				* 図示																																																																																			
2 排水樹ふた 《21. 2. 1》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>継</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鉄製の ふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・密閉形 (ﾌﾞﾗｽﾞ/ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ式)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・中ふた付き密閉形 (ﾌﾞﾗｽﾞ/ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ式)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩ビ製</td> <td>・RS-WU</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	適用荷重	継	備考	鉄鉄製の ふた	・水封形 ・簡易密閉形 (ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による		・密閉形 (ﾌﾞﾗｽﾞ/ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ式)					・中ふた付き密閉形 (ﾌﾞﾗｽﾞ/ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ式)				塩ビ製	・RS-WU				2 路盤 《22. 3. 2. 3、5》	<p>路盤の厚さ * 図示による 路盤材料の種類 ・ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ ・粒度調整砕石 ・再生ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ ・再生粒度調整砕石 ・ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ鉄鋼ｽｸﾗｯｸ ・粒度調整鉄鋼ｽｸﾗｯｸ ・水硬性粒度調整鉄鋼ｽｸﾗｯｸ</p> <p>路盤締固め度の試験 * 行う * 行わない</p>	6 透水性アスファルト舗装 《22. 7. 2. 3、6》	<p>舗装の構成 * 図示による 材料 骨材 * 道路用砕石 * ｱｸﾘﾙｺﾝｸﾘｰﾄ再生骨材</p> <p>試験 開粒度ﾌﾞﾚｯﾄﾞ混合物等の抽出試験 * 行う * 行わない 砂の粒度試験 * 行う * 行わない 適用場所 * ﾌｲﾙﾄ層 * 砂を用いる場合の凍上抑制層 舗装の平坦性 * 著しい不陸がないもの</p>	3 植込み用土 《23. 2. 3》	<p>現場発生土の良質土 * 寄土</p>																																																								
名称	種類	適用荷重	継	備考																																																																																				
鉄鉄製の ふた	・水封形 ・簡易密閉形 (ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209による																																																																																				
	・密閉形 (ﾌﾞﾗｽﾞ/ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ式)																																																																																							
	・中ふた付き密閉形 (ﾌﾞﾗｽﾞ/ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ式)																																																																																							
塩ビ製	・RS-WU																																																																																							
3 グレーチング 《21. 2. 1》	<p>適用荷重 (歩行用、T-2、T-6、T-14、T-20)、形式 (受枠付きボルト固定の有無)、材料 (鋼製、ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ製)、用途 (溝ふた【横断用、側溝用】、樹ふた用、U字溝用)、ｽｲｯﾁ (細目、普通目)、上面形状 (凹凸形、平形) は、図示による</p>	3 アスファルト舗装 《22. 4. 2~6》	<p>ｱｽﾌﾙﾄ舗装の構成及び厚さ * 図示による 材料 ｱｽﾌﾙﾄ * 再生ｱｽﾌﾙﾄ (種類 * 60~80 * 80~100) * スﾄﾚｰﾄﾞｱｽﾌﾙﾄ 骨材 * 道路用砕石 * ｱｽﾌﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ再生骨材</p> <p>加熱ｱｽﾌﾙﾄ混合物等の種類 ・ 密粒度ｱｽﾌﾙﾄ混合物 (13) ・ 細粒度ｱｽﾌﾙﾄ混合物 (13) ・ 密粒度ｱｽﾌﾙﾄ混合物 (13F)</p> <p>試験 ｱｽﾌﾙﾄ混合物等の抽出試験 * 行う * 行わない 舗装の平坦性 * 通行の支障となる水溜を生じない程度</p>	7 ブロック系舗装 《22. 8. 2、3》	<p>ｸｯｼｮﾝ材 ・ 砂 * 空練りめり 仕上り面の平坦性 * 歩行に支障となる段差がないものとし、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ 鋪石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* 花ごう岩</td> <td>・ 割石</td> <td>・</td> <td>・ うろこ張り</td> <td>・ ｺﾝｸﾘｰﾄ版</td> <td>* 70</td> </tr> <tr> <td>・ 図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ｱｸﾘﾙ混合物</td> <td>* 50</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上り面の平坦性 * 歩行に支障となる段差がないものとし、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ ｼﾞｵﾌﾟﾗｽﾄﾘｯｸ 単位面積質量 * 60g/m2以上 厚さ (mm) * 0.5~1.0 引張強さ * 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 * 1.5×10^{-1} cm/sec以上</p>	種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)	* 花ごう岩	・ 割石	・	・ うろこ張り	・ ｺﾝｸﾘｰﾄ版	* 70	・ 図示				・ ｱｸﾘﾙ混合物	* 50	4 街きよ、緑石及び側溝 《21. 3. 1》	<p>街きよ、緑石、側溝</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 緑石</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ L形側溝</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝ふた</td> <td>* 図示による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>* 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>砂地業に用いる材料 * ｼｯﾄ、有機物等の混入しない 締固めに適した山砂、川砂又は砕砂 砂利地業に用いる材料 * 再生ｸﾞﾗﾝｼﾞｮﾝ 切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ材料 設計基準強度 * 18N/mm2 ｽﾗﾌﾞ * 15cm又は18cm 砂利地業の厚さ * 100mm * 図示による 現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 * SD295 凍上抑制層に用いる材料 砂を用いる場合の粒度試験 * 行う * 行わない</p>	種類	形状・寸法	・ 緑石	* 図示による	・ L形側溝	* 図示による	・ U形側溝	* 図示による	・ U形側溝ふた	* 図示による	・	* 図示による	8 芝 《23. 4. 2、3》	<p>種類 * ｸﾞﾗｽﾞｲﾝ 芝張りの工法 平地 * 目地張り * べた張り 法面 * 目地張り * べた張り</p>																																																	
種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																			
* 花ごう岩	・ 割石	・	・ うろこ張り	・ ｺﾝｸﾘｰﾄ版	* 70																																																																																			
・ 図示				・ ｱｸﾘﾙ混合物	* 50																																																																																			
種類	形状・寸法																																																																																							
・ 緑石	* 図示による																																																																																							
・ L形側溝	* 図示による																																																																																							
・ U形側溝	* 図示による																																																																																							
・ U形側溝ふた	* 図示による																																																																																							
・	* 図示による																																																																																							
4 埋戻し土 《21. 2. 1》	<p>・A種 * B種 * C種 * D種</p>	4 コンクリート舗装 《22. 5. 2. 4、6》	<p>寒冷地の縁部立下り寸法等 * 図示による 材料 ｺﾝｸﾘｰﾄ * 標準仕様書表22.5.11による 早強ｺﾞﾙｸﾞﾗﾝﾄﾞセメント * 使用する * 使用しない 注目地材料 * 低弾性ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ * 高弾性ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ</p> <p>目地 種類、間隔、構造 * 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.11による * 図示による 舗装の平坦性 * 通行の支障となる水溜を生じない程度</p>	8 砂利敷き 《22. 9. 2》	<p>種類 ・ A種 (施工範囲 * 図示 * 通路 *) ・ B種 (施工範囲 * 図示 * 建築物の周囲その他)</p>																																																																																			
5 埋戻し土 《21. 2. 1》		5 路面標示用塗料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> <th>適用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* 3種1号</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td>・ 白</td> <td>* 150</td> <td>* 1.0</td> <td>・ 白線</td> </tr> <tr> <td>* 1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>* 100</td> <td>・</td> <td>・ 車輪子駐車線ﾌﾞﾗｯｸ、ﾜｲﾄﾞ</td> </tr> <tr> <td>* 2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	適用部位	* 3種1号	溶解	粉体状	・ 白	* 150	* 1.0	・ 白線	* 1種	常温	液状	・	* 100	・	・ 車輪子駐車線ﾌﾞﾗｯｸ、ﾜｲﾄﾞ	* 2種	加熱						9 吹付けは種 《23. 4. 2》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m2)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* 洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>* 発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m2)	備考	* 洋芝類 (採取後2年以内)	* 発芽率80%以上																																																	
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	適用部位																																																																																		
* 3種1号	溶解	粉体状	・ 白	* 150	* 1.0	・ 白線																																																																																		
* 1種	常温	液状	・	* 100	・	・ 車輪子駐車線ﾌﾞﾗｯｸ、ﾜｲﾄﾞ																																																																																		
* 2種	加熱																																																																																							
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m2)	備考																																																																																					
* 洋芝類 (採取後2年以内)	* 発芽率80%以上																																																																																							
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者																																																																																		
()		仕様書11																																																																																						

Table with columns: 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項. Contains specifications for materials like JAS 1083-3, 1083-4, 1083-5, 1083-6, 0600, 0701, and 0600-1 regarding tree material properties and processing.

Figure Number, Name, Category, Scale, Design Year, and Designer columns with specific entries.

Table with columns: 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項. Contains specifications for materials like JAS 1083-3, 1083-4, 1083-5, 1083-6, 0600, 0701, and 0600-1 regarding tree material properties and processing.

Figure Number, Name, Category, Scale, Design Year, and Designer columns with specific entries.

Table with columns: 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項. Contains specifications for materials like JAS 1083-3, 1083-4, 1083-5, 1083-6, 0600, 0701, and 0600-1 regarding tree material properties and processing.

Figure Number, Name, Category, Scale, Design Year, and Designer columns with specific entries.

Table with columns: 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項, 特 記 事 項. Contains specifications for materials like JAS 1083-3, 1083-4, 1083-5, 1083-6, 0600, 0701, and 0600-1 regarding tree material properties and processing.

Figure Number, Name, Category, Scale, Design Year, and Designer columns with specific entries.

特記事項							
使用材料表4 (6軸組工法)							
・「合板の日本農林規格」による構造用合板							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理
		・1類 ・2級 ・特別	・2級				
・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板							
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用			
			・1類 ・特別				
・パーティクルボード							
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用		
・JAS 0360に基づく構造用パネル							
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級)	（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）		間伐材等の適用		
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級					
使用材料表5 (7軸組工法)							
枠組壁用木材							
・JAS 0600に基づく甲種枠組材							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用	
					・1級 ・2級 ・3級		
・JAS 0600に基づく乙種枠組材							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用	
					・1級 ・2級 ・3級	・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	
・JAS 0600に基づくMSR枠組材							
施工箇所	樹種又は樹種群	曲げ強度性能 (MSR等級)	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用		
・JAS 0600に基づく乙種化粧材							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用				
・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材							
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	間伐材等の適用		
		・1級 ・2級		・SD15 ・SD20			
・「集材材の日本農林規格」による構造用集材材							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理
・「集材材の日本農林規格」による化粧張り構造用集材材							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		芯材:				・1等 ・2等	

特記事項							
使用材料表6 (8丸太組構法工)							
・JAS 0701に基づく構造用単板積層材							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	接着性能 (使用環境)	水平せん断区分	保存処理
				・A種 ・B種 ・C			・K3
・構造用細材							
施工箇所	材料	形状・断面	表面処理	強度			
床材、壁材及び屋根下地材							
・「合板の日本農林規格」による構造用合板							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理
		・1類 ・2級 ・特別					
・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板							
施工箇所	厚さ (mm)	間伐材等の適用					
・JAS 0360に基づく構造用パネル							
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級)	（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）		間伐材等の適用		
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級					
・パーティクルボード							
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	間伐材等の適用		
・ハードボード							
施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂等の特殊処理	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	間伐材等の適用	
・バルブメント板							
施工箇所	厚さ (mm)	種類	かさ密度による区分	化粧加工の有無による区分	備考		
			・1.0板	・普通板 ・化粧板			
・MDF							
施工箇所	厚さ (mm)	普通MDF、構造用MDFの区分	表裏面の状態による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用		
・国土交通大臣の認定を受けた耐力壁に使用する壁材							
施工箇所	仕様	強度	含水率 (%)	間伐材等の適用			
・CLT (直交集成板)							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用	

特記事項							
使用材料表7 (8丸太組構法工)							
丸太組壁用木材							
・機械加工の丸太組壁用木材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)	品質	間伐材等の適用		
				※木造標準仕様書8.2.2(1)(a)による			
・手加工の丸太組壁用木材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	径 (mm)	品質	間伐材等の適用		
				※木造標準仕様書8.2.2(2)(a)による			
丸太組壁以外に用いる木材							
・JAS 0600に基づく目視等級区分構造用製材							
施工箇所	樹種	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・構造材I (甲I) ・構造材II (甲II) ・乙種	・1級 ・2級 ・3級		・SD15 ・SD20		
・JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	含水率	曲げ性能 (等級)	保存処理	間伐材等の適用	
			・SD15 ・SD20				
(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。 無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ							
(参考) JAS 1083-4 製材-第4部に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準 (等級区分と曲げヤング係数)							
等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150	
曲げヤング率 (×10N/mm)	3.9以上 ~5.9未満	5.9以上 ~7.8未満	7.8以上 ~9.8未満	9.8以上 ~11.8未満	11.8以上 ~13.7未満		
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材							
施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用	
		・1等 ・2等					
加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材:)							
・その他の製材							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質 (等級)	含水率 (%)	間伐材等の適用		
				・15以下 ・20以下			
・「集材材の日本農林規格」による構造用集材材							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	樹種
・「集材材の日本農林規格」による化粧張り構造用集材材							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		芯材:				・1等 ・2等	
・JAS 0600に基づく甲種枠組材							
施工箇所	樹種又は樹種群	等級	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	間伐材等の適用	
		・1級 ・2級 ・3級					
・JAS 0600に基づく乙種枠組材							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理	等級	間伐材等の適用	
					・1級 ・2級 ・3級	・コンストラクション ・スタンダード ・ユティリティ	
・JAS 0600に基づくMSR枠組材							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)	未乾燥材又は乾燥材の別	間伐材等の適用		
・JAS 0600に基づく甲種化粧材							
施工箇所	樹種又は樹種群	等級	寸法型式 (mm)	間伐材等の適用			
		・1級 ・2級 ・3級					
使用材料表8 (9CLTパネル工法工)							
・CLT (直交集成板)							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用	

特記事項							
使用材料表8 (9CLTパネル工法工)							
・JAS 0600に基づく乙種化粧材							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理
		・1類 ・2級 ・特別	・2級				
・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	間伐材等の適用			
		・1類 ・特別					
・パーティクルボード							
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用		
・JAS 0360に基づく構造用パネル							
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級)	（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）		間伐材等の適用		
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級					
使用材料表9 (2軸組工法)							
・CLT (直交集成板)							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用	

図面番号	工	事	名
()			

図面種別	縮尺	設計・年月
仕様書13		

担当者	設計者

担当者	設計者

章 特 記 事 項 章 特 記 事 項 章 特 記 事 項 章 特 記 事 項

使用材料表9 (10木工事)(10.2.2)

・JAS 1083-5 製材-第5節に基づく下地用針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	間伐材等の適用		
			・1級 ・2級					
・JAS 1083-2 製材-第2節に基づく造作用針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	間伐材等の適用		
			・上小節					
見え掛り面								
見え掛り面以外								
・JAS 1083-6 製材-第6節に基づく広葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率	間伐材等の適用		
			・1等		・10以下 ・13以下			
・JAS 1083 (製材) 以外の下地用針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	防湿処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	
・JAS 1083 (製材) 以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	防湿処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	
・JAS 1083 (製材) 以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	防湿処理の適用	含水率	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・適用する ・適用しない	・A種 ・B種	
・「集材材の日本農林規格」による造作用集成材								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用		
						※1等 ・2等		
・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
	化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等		
・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数 (面)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	
	化粧薄板: 芯材:					・1等 ・2等		
・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用			
				※15以下				
・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材								
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数 (面)	含水率 (%)	間伐材等の適用		
	化粧薄板: 芯材:				※15以下			
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材								
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用				
		・無 (・1等 ・2等 ・3等) ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する () ・適用しない					
・JAS 0710以外の造作用単板積層材								
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理の適用	間伐材等の適用			
		・無 () ・有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14以下	・適用する () ・適用しない				

使用材料表10 (10木工事)(10.2.3)

・CLT (直交集成板)								
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用		
・「合板の日本農林規格」による普通合板								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
・「合板の日本農林規格」による構造用合板								
施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	強度等級の適用	間伐材等の適用
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板								
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用			
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板								
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
・パーティクルボード								
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)	間伐材等の適用			
	※13	・Pタイプ	・Mタイプ	・15				
・JAS 0300に基づく構造用パネル								
施工箇所	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・変態曲げ試験)	厚さ (mm)	間伐材等の適用					
	・1級 ・2級 ・3級 ・4級							
・MDF								
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	防湿性による区分	間伐材等の適用		

図面番号

工 事 名

図面種別

縮 尺

設計・年月

担当者

設計者